

次の目標に向かつて走り続ける

東郷中学校3年生
香山勇輝さん

東郷中学校3年生で、東郷アスリートクラブに所属している香山勇輝さん。今年の8月に大阪市で開催された全日本中学校陸上選手権大会の男子1000mで3位の成績を収めました。

決勝で感じた安堵と悔しさ

勝負は一瞬。試合の何日も前から緊張したという香山さん。当初は決勝に行けるのか不安。準決勝に行ければよいと思っていました」と振り返ります。3位に決まった時はホッとしたと打ち明けます。

実は、予選の際に太ももを痛めてしまい、決勝は万全のコンディションとは言えませんでしたが、1位とのタイム差はわずか0秒05。「もう少しいけた。次は勝つ」と力強く話します。

練習した分伸びる記録

香山さんは小学生のとき、妹の友人のお父さんがコーチをしている東郷アスリートクラブに誘われたことがきっかけで、陸上を始めました。1000m走で記録をどんどん更新。「やりがいを感じました」と微笑みます。

更なる技術の向上を目指す

練習は週1回、平日の夜2時間行っています。練習では特にフォームを意識していると香山さん。「足を前に出すのが遅くならないように気を付けています」と話します。また、憧れている選手の動画を見てモチベーションを上げています。

次のステージで上を目指す

香山さんの次の目標は、国体で1位を取ることだと意気込みます。来年高校生になっても陸上を続け、国体・インターハイで上を目指します。また、将来はオリンピックにも出場したいと話します。

次ステージに向かつて練習し続ける香山さんのこれからの活躍に注目です。



試合で力走する香山さん(右)